

山 岳 遭 難 発 生 状 況

(令和7年1月1日～令和7年7月27日)
地域部 山岳安全対策課

1 山岳遭難発生状況（暫定値）（令和6年数値は1月1日からの同期間数値）

区 分	発生件数	死 者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
令 和 7 年	171	30	4	82	80	196
令 和 6 年	163	30	0	69	84	183
前 年 同 期 比	8	0	4	13	-4	13

2 山域別発生状況

区 分		件 数	件数比率	死 者	行方不明	負 傷 者	無事救出	遭難者計
北 ア	槍穂高	28	16.4%	8	0	13	9	30
	後立山	39	22.8%	5	1	18	27	51
	その他	32	18.7%	0	0	23	15	38
計		99	57.9%	13	1	54	51	119
中央アルプス		12	7.0%	4	1	4	4	13
南アルプス		3	1.8%	0	1	2	0	3
八ヶ岳連峰		18	10.5%	3	0	11	5	19
その他の山岳		39	22.8%	10	1	11	20	42
計		171		30	4	82	80	196

3 態様別発生状況

区 分	件 数	件数比率	死 者	行方不明	負 傷 者	無事救出	遭難者計
転・滑落	55	32.2%	18	0	39	0	57
転 倒	34	19.9%	1	0	33	0	34
病 気	8	4.7%	3	0	0	5	8
道 迷 い	21	12.3%	0	0	0	36	36
落 石	6	3.5%	0	0	6	0	6
雪 崩	2	1.2%	1	0	1	1	3
落 雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	19	11.1%	0	0	0	20	20
不明・他	26	15.2%	7	4	3	18	32
計	171		30	4	82	80	196

4 男女別・年齢別比率

区 分	男 性					(人) 比率	女 性					(人) 比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下	0	0	0	3	3	30 22.6%	0	0	1	0	1	15 23.8%	4	45 23.0%
20代	1	0	3	11	15		0	0	1	4	5		20	
30代	3	1	3	5	12		0	0	3	6	9		21	
40代	4	1	9	5	19	50 37.6%	1	0	11	3	15	29 46.0%	34	79 40.3%
50代	6	0	10	15	31		0	0	11	3	14		45	
60代	5	1	12	11	29	53 39.8%	0	0	10	3	13	19 30.2%	42	72 36.7%
70以上	10	1	5	8	24		0	0	3	3	6		30	
計	29	4	42	58	133		1	0	40	22	63		196	
比 率	67.9%						32.1%							

(※ 比率の計は、小数点の調整上、一致しない場合あり。)

先週の発生（7/22～7/27）

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
7月22日	北アルプス 白馬岳	男	78	無事救出	疲労	2人パーティで猿倉登山口から入山し、白馬岳に向けて白馬大雪渓を登山中、疲労により、行動不能
7月23日	北アルプス 奥穂高岳	男	69	負傷	滑落	単独で奥穂高岳から涸沢に向けてザイテングラートを下山中、滑落、負傷
7月23日	中央アルプス 千畳敷	女	71	無事救出	疲労	5人パーティで千畳敷から入山し、ハ丁坂を登山中、疲労により行動不能
7月24日	北アルプス 白馬岳	男	29	負傷	落石	3人パーティで白馬岳に入山し、樽池に向けて下山中、落石により、負傷
7月24日	北アルプス 燕岳	女	17	負傷	転倒	97人パーティで燕岳から中房登山口に向けて下山中、スリップし、転倒、負傷
7月25日	北アルプス 北穂高岳	男	75	負傷	滑落	単独で北穂高岳から涸沢に向けて下山中、スリップし、滑落、負傷
7月25日	北アルプス 北穂高岳	女	65	負傷	滑落	11人パーティで槍ヶ岳から北穂高岳に向けて縦走中、滑落、負傷
7月26日	北アルプス 槍ヶ岳	男	52	無事救出	疲労	単独で七倉登山口から入山し、槍ヶ岳に向けて北鎌尾根を登山中、疲労により、行動不能
7月26日	北アルプス 南岳	男	72	死亡	滑落	単独で南岳から天狗原に向けて下山中、何らかの原因により、滑落
7月26日	北アルプス 奥穂高岳	男	71	死亡	滑落	12人パーティで奥穂高岳から涸沢に向けてザイテングラートを下山中、何らかの原因により、滑落
7月27日	北アルプス 霞沢岳	男	69	負傷	転倒	3人パーティで霞沢岳から下山中、転倒、負傷
7月27日	奇妙山	女	64	無事救出	疲労	2人パーティで奇妙山に入山し、山頂付近で疲労により、行動不能
7月27日	北アルプス 白馬鍾ヶ岳	男	78	無事救出	滑落	2人パーティで白馬鍾ヶ岳から猿倉登山口に向けて下山中、疲労により、行動不能

山岳安全対策課からのアドバイス

先週県内では、**2件**の死亡遭難を含む、**13件**の山岳遭難が発生しました。死亡遭難は先週に続き、北アルプス槍穂高連峰で発生し、いずれも**滑落**によるものでした。

槍穂高連峰の登山道は、急峻な岩場が続く、鎖場やハシゴ場が連続する箇所が多数あります。危険箇所を通過する際には、ひと呼吸を置くなど普段以上に注意するとともに、特に下山時は、疲労や気の緩みによって足元がおろそかになり、滑落するリスクが高まるため、慎重に行動しましょう。

また、先週末は槍穂高連峰で天候が急変し、激しい雷雨や雹となったことから、これらに起因する滑落遭難や低体温症による行動不能が多発しました。

山の上では、朝のうちは天気が良くても、午後になると天候が急激に悪化し、雷雨の可能性が高まり、稜線では落雷の危険性があります。

登山する際には、「**早出早着**」を心掛け、ゆとりある登山ができるよう心掛けましょう。